

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	みきの家（放課後等デイサービス）				公表日	令和8年 4月 1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	1	・屋外に公園がありのびのびと活動できる	・駐車場と外遊びが同じ場所になるのでやや危険と感じることがある ・高学年の利用者が多い時はもう少し広さがあればと思う
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11		・利用者2～3名に対し1名は指導員を配置するようにしている	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	1	・その日のスケジュールをホワイトボードに記載している ・全員の靴や荷物の定位置を決めており、利用者が混乱しないようにしている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12		・移動できるつい立てを使い空間を仕切ることで別々の活動ができています	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12		・クールダウンできる小部屋・静養室があり必要な時は使っている	・室内で運動できるスペースがあればいいのでは ・静かに落ち着く部屋と元気に体を動かせる部屋があればいいです
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	・支援の前にミーティングの時間を設けている。決まったことは職員間の連絡ノートに記入し職員間で支援の方法を統一している	・私のように時折しか来ない者にとっては話し合いをする時間を設定するのがやや困難な面がある
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1	・定期的に研修を実施しており、参加できなかった者には管理者から内容を個別に周知している	・具体的にどうなっているのか判断しにくいので評価が難しい
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	11			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	1	・都度個別支援計画策定委員会を実施している	・様々な子どもがいて時間的に十分できているとは言い難い
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	11			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		・勤務にあたっては、事前に気になる字の情報を与えてくれる ・ホワイトボードにその日の役割や支援担当が書かれており支援前に確認している。口頭で伝え合い確認している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	1	・支援後に記録を行い、気になることは口頭でも伝えるようにしている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	9			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	1	・個々の子どもの状態に応じた声掛けを行い自己決定できるよう心掛けている	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1	・学校や幼稚園でのモニタリングを実施している	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		・職員が移行支援会議に参加し情報共有に努めている	・実際にどこまでなされているかは把握できていない
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	2	・東部養護学校の文化祭の参加は望ましい ・イベントのある時のみ	・時間的になかなか難しい。同じ時間に利用するので交流が図りにくい
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10		・保護者と連絡ノートや口頭で体調や活動状況を伝え合い共通理解を持っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9				
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	3	・令和7年度より保護者参加型のイベントをスタートした ・クリスマス会に保護者も招待している	・以前は時折実施されていたのでは。最近はあまり耳にしない	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9				
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	1			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10				
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10				
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10	1	・クリスマス会、文化祭参加など部内に実施されている ・クリスマス会を実施し、地域住民、民生委員、役職員等を招待し共にゲームやレクリエーションをして交流を図っている		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		・各マニュアルは策定している		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9				
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	11		・個々の子どもの情報記録があり、状況を確認している		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		・個々の子どもの情報を把握しておりおやつやみんなでおやつを作る時は配慮している		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10		・安全管理研修や訓練に参加できなかった支援員には研修資料、訓練報告書を回覧し全員に周知、共有している		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9				
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		・ヒヤリハット報告書を作成し、回覧して全員に周知している		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		・虐待防止研修資料を回覧して全員に周知している		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8					